※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	(学)トピック・スタディズ	2	3	なし

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

トピック・スタディズの主な目的は、英語をツールとして、グローバルな問題について理解を深め、世界の状況を改善する方法を考えることである。後期からは模擬国連に参加し、生徒たちはある国の役割を担い、その国の状況を学び、他のグループと協力して自分たちが見つけた問題の解決策を考え、その解決策を実行するための国際的な政策を立案するために他の国と交渉する。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・グローバルな課題について、対話や討論、報告、紹介などを聞いて情報や内容の概要や要点を捉えることができる。 ・現代社会に関する幅広い話題について、報告、紹介などを聞いて情報や内容の詳細を捉えることができる。	・グローバルな課題について、社会生活に必要なレベルの説明や評論、物語を読んで、未知語の推測などを駆使して、情報や内容の概要や要点を捉えることができる。 ・現代社会に関する幅広い話題について、学習者用に書き直された説明や評論、物語を読んで、短時間で情報や内容の詳細を捉えることができる。	・グローバルな課題について、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりすることができる。 ・グローバルな課題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合うことができる。	・グローバルな課題について、情報や考えをまとめ、発表することができる。	・グローバルな課題について、情報や自分の考えをまとめ、具体例や論拠を示して説得力のある文章が書ける。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、発表やエッセイに必要な技能を習得しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。	学習内容について自分の考えをまとめ、それを習得した知識・技能を使って英語で表現できているかどうかを的確に評価できる方法で実施。	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
	Unit 1: What is the UN? Unit 2: Human Rights	聞くこと	a: 自然な速さで話されるニューズレポートを聞き、概要を把握することができる。 b: 聞いたことについて、自分自身の意見をまとめている。 c: 積極的にメモを取り、聞くことに集中している。	授業観察
		読むこと	a: 海外新聞記事などを短時間で読み、要点を把握することができる。 b: メモを取りながら読み、キーワードをもとに内容をまとめることができる。 c: 積極的にメモを取り、内容をまとめることに取り組んでいる。	小テスト
		話すこと	a: 国連、人権に関して自分の考えを適切かつ表現することができる。 b: 自分のメモを参考に、自分の言葉で内容を伝えている。 c: より積極的により詳しく自分の意見を表現することができる	発表 授業観察
		書くこと	a: 人権侵害について、まとまりのあるレポートを幅広い語彙や複雑な構文を用いて書くことができる。 b: 理由と適切な例を使って、自分の意見を論理的に表現することができる。 c: 自分の言葉で内容を整理して書くことができる。	課題提出物
	プレ中間考査			
	Unit 3: Poverty Unit 4: Education	聞くこと	a: 自然な速さで話されるニューズレポートを聞き、概要を把握することができる。 b: 聞いたことについて、自分自身の意見をまとめている。 c: 積極的にメモを取り、聞くことに集中している。	授業観察
		読むこと	a: 海外新聞記事などを短時間で読み、要点を把握することができる。 b: メモを取りながら読み、キーワードをもとに内容をまとめることができる。 c: 積極的にメモを取り、内容をまとめることに取り組んでいる。	小テスト
		話すこと	a: 貧困に関して自分の考えを適切かつ表現することができる。 b: 自分のメモを参考に、自分の言葉で内容を伝えている。 c: より積極的により詳しく自分の意見を表現することができる	授業観察
		書くこと	a: 教育について、まとまりのあるレポートを幅広い語彙や複雑な構文を用いて書くことができる。 b: 理由と適切な例を使って、自分の意見を論理的に表現することができる。 c: 自分の言葉で内容を整理して書くことができる。	課題提出物
	前期中間考査			
	Unit 5： UN Forum Unit 6: Gender Equality	聞くこと	a: 自然な速さで話されるニューズレポートを聞き、概要を把握することができる。 b: 聞いたことについて、自分自身の意見をまとめることができる。 c: 積極的にメモを取り、聞くことに集中している。	授業観察
		読むこと	a: 海外新聞記事などを短時間で読み、要点を把握することができる。 b: メモを取りながら読み、キーワードをもとに内容をまとめることができる。 c: 積極的にメモを取り、内容をまとめることに取り組んでいる。	小テスト
		話すこと	a: 教育課題に関する発表を行うとともに、聴衆からの質問にも対応できる。 b: 教育課題について、補助的視点や関連事項を加えながら話を続けることができる。 c: 発表に聴いたことに対して Follow Up 質問をすることができる	発表 授業観察
		書くこと	a: 男女平等について、まとまりのあるレポートを幅広い語彙や複雑な構文を用いて書くことができる。 b: 理由と適切な例を使って、自分の意見を論理的に表現することができる。 c: 自分の言葉で内容を整理して書くことができる。	課題提出物
	前期期末考査			
	Unit 7: Model UN	聞くこと	a: 発表を聞き、概要を把握することができる。 b: 発表それぞれを聞いたことについて、全体的に傾向や共通点など、比較することができる。 c: 積極的にメモを取り、聞くことに集中している。	授業観察

※令和４年度以降入学生用

		読むこと	a: 簡易化された国連の決議草案を読み、要点を把握することができる b: メモを取りながら読み、キーワードをもとに内容をまとめることができる。 c: 積極的に酒井的な課題に関する記事やレポートを読み内容をまとめることを取り組むことができる。	授業観察
		話すこと	a:男女平等について、発表を行い、聴衆からの質問を対応できる。 b: 他のグループと相談し、交渉することにより、新たな共同決議を作ることができる n. c: 積極的にグループに相談しないようをまとめることを取り組むことができる。	発表 授業観察
		書くこと	a: 男女平等について、まとまりのあるレポートを幅広い語彙や複雑な構文を用いて書くことができる。 b: 理由と適切な例を使って、自分の意見を論理的に表現することができる。 c: 自分の言葉で内容を整理して書くことができる。	課題提出物
	後期中間考査			
	Unit 8： Sustainability	聞くこと	a: 自然な速さで話されるニューズレポートを聞き、概要を把握することができる。 b: 聞いたことについて、自分自身の意見をまとめている。 c: 積極的にメモを取り、聞くことに集中している。	授業観察
		読むこと	a: 海外新聞記事などを短時間で読み、要点を把握することができる。 b: メモを取りながら読み、キーワードをもとに内容をまとめることができる。 c: 積極的にメモを取り、内容をまとめることに取り組んでいる。	小テスト
		話すこと	a: Sustainability に関して自分の考えを適切かつ表現することができる。 b: 自分のメモを参考に、自分の言葉で内容を伝えている。 c: より積極的により詳しく自分の意見を表現することができる	発表 授業観察
		書くこと	a: Sustainable Practices について、幅広い語彙や複雑な構文を用いて書くことができる。 b: 理由と適切な例を使って、自分の意見を論理的に表現することができる。 c: 自分の言葉で内容を整理して書くことができる。	課題提出物
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度